

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	04	老人福祉費
大事業	201	高齢者福祉事業							
中事業	01	高齢者活動支援事業							

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	6	誰もが笑顔で暮らせるまちづくり	所管部局	市民福祉部
	基本計画	6-3	高齢者福祉の充実		健康長寿課(高齢)
総合戦略	政策パッケージ	2	少子化・高齢化対策		
	施策	2-4	高齢者の元気・健康の維持		
事業区分	自治事務(任意的なもの)		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	老人福祉法			
根拠例規	有	坂井市全国健康福祉祭等出場激励金支給要綱			
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	老人クラブの活動充実を支援し、地域の担い手として高齢者の社会参加への推進を図り、心豊かな社会づくりに寄与することに加え、カラオケ大会を開催することで老人クラブに加入する会員への生活総合機能改善機器の利用促進、並びに同機器を利用した自主的な介護予防活動の促進を図る。また、高齢者が、健康増進や生きがい活動を目的に全国健康福祉祭等の大会に出場する際、激励金を支給する。
実施方法等	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆老人クラブ連合会支援事業 坂井市老人クラブ連合会へ運営活動の支援をし、高齢者の福祉の増進を図る。</li> <li>◆高齢者大会支援事業 全国健康福祉祭やスポーツ大会等に出場する個人・団体に、激励金を支給する。</li> <li>◆市制10周年記念高齢者カラオケ大会事業 市制10周年を記念し、カラオケ大会を市・老人クラブ連合会と共同開催をする。</li> </ul>

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	8,761	7,563	10,590
	人件費	10,539	9,100	5,271
	総事業費	19,300	16,663	15,861
人員	正職員	1.57 人	1.28 人	0.75 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	1.57 人	1.28 人	0.75 人
財源内訳	国県支出金	3,010	3,019	3,153
	その他特定財源			
	一般財源	16,290	13,644	12,708

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
指標	老人クラブ会員数	人	目標	5,068	5,373	5,527	5,970
			実績	4,784	5,068	5,373	5,527
			達成率(%)	94.40	94.32	97.21	92.58
指標の説明		年度末の坂井市内の老人クラブ会員数					
指標	老人クラブ数	クラブ	目標	88	91	91	95
			実績	85	88	91	91
			達成率(%)	96.59	96.70	100.00	95.79
指標の説明		年度末の坂井市内の老人クラブ数					
活動			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価	全国的な傾向ではあるが、クラブ数及び会員数は減少傾向にある。						

5. 事業に対する評価

現状と課題	有効性に課題	
	従来の老人クラブの活動に加え、市制10周年ということで老人クラブ連合会と共同でカラオケ大会を開催したことで、老人クラブに加入する会員への生活総合機能改善機器のPRと利用促進、並びに同機器を利用した自主的な介護予防活動の促進を図ることができた。	
これまでの見直しや改善等の実績	開催内容が重複する研修会は回数を減らし、人気のあるウォーキング大会は送迎バスを増やして参加者の増加に努めるなど、会員の参加率向上を目指すとともに、担当者会議を開催し、問題点の共有を図った。身近な支援役である地区老連事務局として、各地区に応じた会員増強活動を支援した。	

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度			目標年度		
方向性の説明	会員数の増加を目指し、参加者の少ない事業については、事業効果やニーズに応じた内容にするよう協議する。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	04	老人福祉費
大事業	201	高齢者福祉事業							
中事業	06	敬老事業							

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	6	誰もが笑顔で暮らせるまちづくり	所管部局	市民福祉部
	基本計画	6-3	高齢者福祉の充実		健康長寿課(高齢)
総合戦略	政策パッケージ	2	少子化・高齢化対策		
	施策	2-4	高齢者の元気・健康の維持		
事業区分	自治事務(任意的なもの)		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	有		坂井市高齢者祝品金等事業実施要綱		
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	坂井市に居住する75歳以上の高齢者を対象に、身近な地域でお祝いしていただく敬老会の経費に対し、助成するとともに、満100歳や米寿を迎えられる高齢者に対し、その長寿を祝い祝品等を贈呈することで、高齢者福祉の向上を図る。
実施方法等	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆地区別敬老会支援事業 昭和17年4月1日以前に生まれた方で坂井市に住民登録のある方を地域で招待して実施する敬老会に対し助成する。</li> <li>◆高齢者慰問事業 9月の敬老福祉週間の一環として、市長等が訪問をして祝品等を渡し長寿を祝う。</li> </ul>

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	18,498	16,467	18,945
	人件費	3,894	7,038	7,731
	総事業費	22,392	23,505	26,676
人員	正職員	0.58 人	0.99 人	1.10 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.58 人	0.99 人	1.10 人
財源内訳	国県支出金			
	その他特定財源	5,669	5,697	7,503
	一般財源	16,723	17,808	19,173

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
指標	敬老会出席率	%	目標	31.0	31.0	30.0	28.2
			実績	29.7	29.8	30.7	38.0
			達成率(%)	95.71	96.06	102.33	134.75
成果	指標の説明 坂井市内全体での敬老会出席率						
指標	敬老会出席者数	人	目標	4,032	3,846	3,599	3,383
			実績	3,860	3,757	3,805	3,631
			達成率(%)	95.73	97.69	105.72	107.33
活動	指標の説明 坂井市内全体での敬老会出席者数						
指標	敬老会実施会場数	会場	目標	27	23	23	7
			実績	27	27	23	11
			達成率(%)	100.00	117.39	100.00	157.14
活動	指標の説明 坂井市内全体での敬老会実施会場数						
指標	高齢者慰問回数	回	目標	1	1	1	1
			実績	1	1	1	1
			達成率(%)	100.00	100.00	100.00	100.00
活動	指標の説明 年間の慰問実施回数						
指標に基づく評価	敬老会への参加者数は増加したが、出席率については横ばいである。						

5. 事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題	
	敬老会は、地域の創意と工夫により、各地区の特色が活かされた会が開催されている。高齢者慰問は、米寿の祝品を各町の特産品の詰合せとし、お祝いを行った。	
これまでの見直しや改善等の実績	平成27年度に敬老会の実施内容を検証し、地域割りの見直しを行った。平成27年度に、100歳及び米寿の対象者を、数え年から満年齢に変更し、祝いの内容についても見直した。	

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度			目標年度		
方向性の説明	地域の独自性による敬老会の開催を継続していくため、地域の理解と協力を得ながら、事業の定着を図っていく。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	04 老人福祉費
大事業	201	高齢者福祉事業				
中事業	11	法定事務事業				

1. 事業の位置付け

総合計画	基本構想	6	誰もが笑顔で暮らせるまちづくり	所管部局	市民福祉部
	基本計画	6-3	高齢者福祉の充実		健康長寿課（高齢）
総合戦略	政策パッケージ	2	少子化・高齢化対策		
	施策	2-4	高齢者の元気・健康の維持		
事業区分	自治事務（義務的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	介護保険法、老人福祉法			
根拠例規	有	坂井市外国人高齢者福祉手当支給事業			
関連計画・マニュアル	無				

2. 事業の目的・概要

目的・趣旨	介護保険法や老人福祉法などの法令等で定められた各々の事務事業を適正に執行し、所期の目的を達成する。
実施手段等	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆介護保険事業 申請書等の受付、相談窓口、保険料の収納等の事務を行う。</li> <li>◆高齢者保護措置事業 65歳以上の者（65歳未満の者であって特に必要であると認められる者を含む）に対し、その福祉を図るため、必要な措置を行う。</li> <li>◆外国人高齢者福祉手当事業 対象となる外国人高齢者に対し、手当を支給する。</li> </ul>

3. 事業のコスト

（単位：千円）

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	1,199,115	1,194,271	1,142,433
	人件費	4,229	8,744	12,229
	総事業費	1,203,344	1,203,015	1,154,662
人員	正職員	0.63 人	1.23 人	1.74 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.63 人	1.23 人	1.74 人
財源内訳	国県支出金	2	5,165	
	その他特定財源	5,489	6,368	6,830
	一般財源	1,197,853	1,191,482	1,147,832

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	外国人高齢者福祉手当支給対象者数	人	目標				
			実績	4	5	5	7
成果	指標の説明		達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
			外国人高齢者福祉手当の支給対象者数				
指標	措置者数	人	目標				
			実績	26	28	30	29
成果	指標の説明		達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
			高齢者保護措置者数				
指標			目標				
			実績				
	指標の説明		達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標			目標				
			実績				
	指標の説明		達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標に基づく評価		法令で定められた事業を適正な事務で処理するものであるため、目標は定めていない。					

5. 事業に対する評価

現状と課題	課題はない
	その都度、事務処理内容を確認して、適正な処理を努めている。
これまでの見直しや改善等の実績	法令等で定められた事業を、適正に実施していく。

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度			目標年度		
方向性の説明	法令等で定められた事業を、適正に実施していく。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	04 老人福祉費
大事業	201	高齢者福祉事業				
中事業	16	在宅介護支援事業				

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	6	誰もが笑顔で暮らせるまちづくり	所管部局	市民福祉部
	基本計画	6-3	高齢者福祉の充実		健康長寿課(高齢)
総合戦略	政策パッケージ	2	少子化・高齢化対策		
	施策	2-4	高齢者の元気・健康の維持		
事業区分	自治事務(任意的なもの)		事業種別	補助金事業(事業補助)	
根拠法令	無				
根拠例規	有		坂井市高齢者等介護予防、生活支援事業実施要綱		
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	高齢者が住み慣れた地域社会にて継続して生活出来るよう支援し、保健福祉の向上を図る。
実施方法等	住まい環境整備支援事業、地域ぐるみ高齢者等屋根の雪下ろし助成事業、軽度生活援助事業、寝具類等洗濯乾燥消毒サービス事業、在宅介護ほっとひといき支援事業、介護マーク普及事業を実施する。

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	2,495	3,855	4,667
	人件費	9,063	8,751	10,047
	総事業費	11,558	12,606	14,714
人員	正職員	1.35 人	1.13 人	1.25 人
	臨時職員	0.00 人	0.35 人	0.50 人
	人員計	1.35 人	1.48 人	1.75 人
財源内訳	国県支出金	975	1,621	1,351
	その他特定財源	27	39	73
	一般財源	10,556	10,946	13,290

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
指標	住まい環境整備支援事業件数	件	目標	3	3	3	3
			実績	1	4	3	3
			達成率(%)	33.33	133.33	100.00	100.00
成果	指標の説明 介護保険外の住宅改修の工事費用を助成する						
指標	寝具類等洗濯乾燥消毒サービス利用者数	人	目標	60	60	600	600
			実績	62	57	570	581
			達成率(%)	103.33	95.00	95.00	96.83
活動	指標の説明 要介護3~5の単身世帯または高齢者世帯に対し寝具類洗濯サービスを行う						
指標	軽度生活援助事業利用者数	人	目標	15	15	15	15
			実績	10	12	10	10
			達成率(%)	66.67	80.00	66.67	66.67
活動	指標の説明 在宅のひとり暮らしに対し、日常生活上の簡易な援助を行う						
指標	介護マーク交付件数	件	目標	20	20	20	20
			実績	4	10	1	15
			達成率(%)	20.00	50.00	5.00	75.00
成果	指標の説明 認知症などの介護者に対し介護マークの名札を交付する						
指標に基づく評価	寝具類等洗濯乾燥消毒サービス事業については、利用者数が減少傾向にある。						

5. 事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題	有効性に課題	
	住まい環境整備支援事業と在宅介護ほっとひといき支援事業については、県の補助事業を利用しているため現状通り実施する。寝具類等洗濯乾燥消毒サービス事業については、事業の継続について検討が必要である。		
これまでの見直しや改善等の実績	平成27年度に寝具類等洗濯乾燥消毒サービス事業について、事業対象者の見直しを行った。軽度生活援助事業は平成29年度からの新しい総合事業への移行について協議した。		

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度			目標年度		
方向性の説明	2025年に向け、地域包括ケアシステムの構築を目指す。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	05	老人福祉施設費
大事業	101	高齢者福祉施設事業							
中事業	01	高齢者福祉施設等管理事業							

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	6	誰もが笑顔で暮らせるまちづくり	所管部局	市民福祉部
	基本計画	6-3	高齢者福祉の充実		健康長寿課(高齢)
総合戦略	政策パッケージ	2	少子化・高齢化対策		
	施策	2-4	高齢者の元気・健康の維持		
事業区分	自治事務(任意的なもの)		事業種別	施設管理事業	
根拠法令	無				
根拠例規	有		坂井健康増進センター条例、同条例施行規則		
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	施設の維持管理を行うなかで、高齢者の健康増進と福祉の向上を図ることを目的とする。
実施方法手段	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆坂井健康増進センター管理運営事業</li> <li>◆老人いこいの広場管理運営事業</li> </ul> 市民に健康増進の場を提供し、健康増進に関する指導、啓発等の事業を行うことにより、市民の積極的な健康増進の活動に資するため、施設の管理を行う。

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	10,800	41,550	41,431
	人件費	1,410	1,777	1,757
	総事業費	12,210	43,327	43,188
人員	正職員	0.21 人	0.25 人	0.25 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.21 人	0.25 人	0.25 人
財源内訳	国県支出金			
	その他特定財源	3,583	18,753	19,777
	一般財源	8,627	24,574	23,411

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	坂井健康増進センター施設利用者数	人	目標	2,000	1,200	300	300
			実績	3,913	2,703	2,120	705
			達成率(%)	195.65	225.25	706.67	235.00
指標の説明		一年間の入浴料負担者数					
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価	健康増進センターの利用者は年々増加している。						

5. 事業に対する評価

現状と課題	妥当性に課題	効率性に課題	
	施設の経年劣化が目立ってきているが、利用者は年々増加している。市民の健康増進の活動に資するため、施設を適切に維持管理していく必要がある。		
これまでの見直しや改善等の実績	平成27年度に健康増進センター施設使用者に対し、アンケートを実施して、使用状況を把握するとともに、平成28年度からの利用料改定への理解と協力を求めた。		

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度			目標年度		
方向性の説明	施設管理については、維持管理において経年劣化による修繕についての対応が必要となるため、計画的な事業実施を図る。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	05	老人福祉施設費
大事業	101	高齢者福祉施設事業							
中事業	06	介護予防施設管理事業							

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	6	誰もが笑顔で暮らせるまちづくり	所管 部局	市民福祉部 健康長寿課（高齢）
	基本計画	6-3	高齢者福祉の充実		
総合戦略	政策パッケージ	2	少子化・高齢化対策		
	施策	2-4	高齢者の元気・健康の維持		
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	施設管理事業	
根拠法令	無				
根拠例規	有		坂井市介護予防拠点施設条例・同条例施行規則		
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	高齢者が要介護状態になることなく、健康でいきいきとした日常生活を過ごせるよう、介護予防事業を行う施設の維持管理を行う。
実方手法等段	◆介護予防拠点施設の維持管理事業（いこいの家、つどいの家、ふれ愛の家） 高齢者の生きがい活動としての場を適切に管理し、各種の活動を通じて高齢者の介護予防を図る。

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	2,104	2,523	2,313
	人件費	1,745	2,844	1,406
	総事業費	3,849	5,367	3,719
人員	正職員	0.26 人	0.40 人	0.20 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.26 人	0.40 人	0.20 人
財源内訳	国県支出金			
	その他特定財源	989	881	192
	一般財源	2,860	4,486	3,527

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	施設の維持管理経費	千円	目標	2,399	2,887	2,750	2,725
			実績	2,104	2,523	2,313	2,333
			達成率(%)	87.70	87.39	84.11	85.61
指標の説明		年間の施設の維持管理にかかる経費					
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価	高齢者の外出・交流の場としての施設を維持管理することにより、利用人数は増加傾向にある。						

5. 事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題	
	介護予防拠点施設としての機能を果たすため適切な施設維持を行っていく必要がある。	
これまでの見直しや改善等の実績	施設開設後数年が経過し修繕が必要な箇所は、早急に対応している。	

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度			目標年度		
方向性の説明	適切な施設の維持管理に継続して努めていく。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	06	地域支援事業
大事業	001	介護予防・日常生活支援総合事業							
中事業	06	一次予防事業							

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	6	誰もが笑顔で暮らせるまちづくり	所管部局	市民福祉部
	基本計画	6-3	高齢者福祉の充実		健康長寿課(高齢)
総合戦略	政策パッケージ	2	少子化・高齢化対策		
	施策	2-4	高齢者の元気・健康の維持		
事業区分	自治事務(義務的なもの)		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	介護保険法			
根拠例規	有	坂井市介護予防日常生活支援総合事業実施要綱			
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	高齢者自身が介護予防の大切さを知り、自ら介護予防活動に参加し、生活機能の低下を予防する。
実方手法等	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆介護予防啓発事業 地区の高齢者が集まる場において体操等を行い介護予防の大切さを普及啓発する。</li> <li>◆音楽・体操いきいき教室事業 生活総合機能改善機器を利用し、音楽や体操を通して介護予防を行う</li> <li>◆高齢者の生きがいと健康づくり推進事業 高齢者の生きがいと社会参加を促進し、家に閉じこもることがないような事業を実施する。</li> </ul>

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	26,741	10,275	11,953
	人件費	9,544	11,041	7,994
	総事業費	36,285	21,316	19,947
人員	正職員	1.04 人	1.25 人	0.85 人
	臨時職員	1.00 人	1.05 人	0.80 人
	人員計	2.04 人	2.30 人	1.65 人
財源内訳	国県支出金			
	その他特定財源	22,860	6,590	6,735
	一般財源	13,425	14,726	13,212

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
指標	高齢者の生きがいと健康づくり推進事業 スポーツレクリエーション活動参加者数	回	目標	5,200	5,200	5,200	5,200
			実績	2,427	4,276	3,276	4,139
活動	指標の説明		達成率(%)	46.67	82.23	63.00	79.60
			スポーツレクリエーション活動参加者数				
指標	介護予防教室参加人数(延)	人	目標	2,000	2,000	2,200	2,200
			実績	1,098	1,581	2,192	2,419
活動	指標の説明		達成率(%)	54.90	79.05	99.64	109.95
			介護予防教室、介護予防グループ活動、介護予防栄養教室の参加人数				
指標	音楽・体操いきいき教室実施回数	回	目標	558	432	413	389
			実績	558	432	413	389
活動	指標の説明		達成率(%)	100.00	100.00	100.00	100.00
			年間延べ実施回数				
指標	音楽・体操いきいき教室参加人数(延)	人	目標	5,500	4,800	4,800	4,800
			実績	9,136	5,646	5,112	4,572
活動	指標の説明		達成率(%)	166.11	117.63	106.50	95.25
			音楽・体操いきいき教室の参加人数				
指標に基づく評価	介護予防教室は民間地域包括支援センターによる身近な場所での開催が増えたことにより、参加人数が増加した。 音楽・体操いきいき教室は昨年度24会場から31会場に会場数を増加したことにより回数、参加人数が大きく増加した。						

5. 事業に対する評価

現状と課題	有効性に課題	
	音楽・体操いきいき教室は、新総合事業開始に伴い元気高齢者だけでなく、従来の要支援相当の方が参加ができるように事業の拡大と充実が必要である。	
これまでの見直しや改善等の実績	平成29年度の新総合事業に向けて介護予防教室の内容を見直し、音楽・体操いきいき教室を主な介護予防教室として位置づけ実施した。	

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度			目標年度		
方向性の説明	介護保険法の改正を受け、平成29年度は一般介護予防通所事業等として引き継ぎ、介護予防・日常生活支援総合事業での一般高齢者の受け皿となる社会資源の状況把握と活用に取り組み、よりニーズに合った内容で充実させ、推進していく。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	06	地域支援事業
大事業	001	介護予防・日常生活支援総合事業							
中事業	11	地域介護予防活動支援事業							

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	6	誰もが笑顔で暮らせるまちづくり	所管部局	市民福祉部
	基本計画	6-3	高齢者福祉の充実		健康長寿課(高齢)
総合戦略	政策パッケージ	2	少子化・高齢化対策		
	施策	2-4	高齢者の元気・健康の維持		
事業区分	自治事務(義務的なもの)		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	介護保険法、地域支援事業実施要綱			
根拠例規	無	坂井市介護予防日常生活支援総合事業実施要綱			
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	被保険者が要介護状態または要支援状態になることを予防し、可能な限り地域において自立した日常生活を営むことができるよう支援する。
実施方法等	◆地域介護予防活動支援事業 介護予防事業を実施して、要支援・要介護状態になるのを予防したり、家に閉じこもりがちな高齢者に対して、NPO法人等が実施する通所の介護予防施設や地区で開催されるサロンにおいて、本人の希望や身体状況に応じた日常動作訓練等を行う。

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	40,800	42,964	40,837
	人件費	1,477	2,417	984
	総事業費	42,277	45,381	41,821
人員	正職員	0.22 人	0.34 人	0.14 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.22 人	0.34 人	0.14 人
財源内訳	国県支出金			
	その他特定財源	40,800	42,964	40,837
	一般財源	1,477	2,417	984

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
指標	通所者延人数	人	目標	13,500	14,000	12,100	12,000
			実績	13,008	13,328	13,627	13,690
			達成率(%)	96.36	95.20	112.62	114.08
指標の説明		地域介護予防活動の年間延利用人数					
活動	サロン事業実施回数	回	目標	500	490	490	480
			実績	644	587	542	473
			達成率(%)	128.80	119.80	110.61	98.54
指標の説明		サロン年間実施回数					
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価		通所者の延人数は減少しているが、サロン事業の実施回数は少しずつ増加しており、身近な介護予防活動の場として広がってきている。					

5. 事業に対する評価

現状と課題	有効性に課題	
	通所者の延人数は目標には及ばなかったが、サロン事業の実施回数は少しずつ増加しており、介護予防や閉じこもり防止対策の一端を担っている。	
これまでの見直しや改善等の実績	地域包括支援センター等、高齢者の相談窓口での紹介など、利用促進を図った。また、地区サロン事業については、実施回数は増加しており、わずかではあるが開催地区も増えてきている。	

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度			目標年度		
方向性の説明	平成29年度は一般介護予防通所事業として継続し、高齢者相談窓口や関係機関などでの広報に努めていく。 NPO法人など、地域の担い手を発掘し、地域介護予防活動を広げていく。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	06	地域支援事業
大事業	001	介護予防・日常生活支援総合事業							
中事業	21	生活支援サービス事業							

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	6	誰もが笑顔で暮らせるまちづくり		所管部局	市民福祉部
	基本計画	6-3	高齢者福祉の充実			健康長寿課(高齢)
総合戦略	政策パッケージ	2	少子化・高齢化対策			
	施策	2-4	高齢者の元気・健康の維持			
事業区分	自治事務(義務的なもの)		事業種別	ソフト事業		
根拠法令	有					
根拠例規	有		坂井市高齢者等介護予防・生活支援事業実施要綱			
関連計画・マニュアル	無					

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	在宅の高齢者が健康で自立した生活を送ることができるように支援する。また元気な高齢者自身の介護予防を促進するとともに、地域で何らかの支援を必要とする高齢者の生活を支え合う地域社会づくりを推進する。
実施手段等	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆配食による栄養改善事業 在宅の高齢者が健康で自立した生活を送ることができるよう、配食サービス等を十分なアセスメントを行った上で計画的、有機的につなげて提供する。</li> <li>◆生活・介護支援サポーター事業 生活・介護支援サポーターを養成し、自身の介護予防の促進と、見守りが必要な高齢者への支援等を行う。</li> </ul>

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	6,135	1,965	2,013
	人件費	2,819	7,164	3,457
	総事業費	8,954	9,129	5,470
人員	正職員	0.42 人	0.95 人	0.42 人
	臨時職員	0.00 人	0.20 人	0.20 人
	人員計	0.42 人	1.15 人	0.62 人
財源内訳	国県支出金			
	その他特定財源	6,135	1,964	2,012
	一般財源	2,819	7,165	3,458

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	配食サービス利用者数	人	目標	30	30	30	30
			実績	18	20	26	28
			達成率(%)	60.00	66.67	86.67	93.33
指標の説明							
指標	生活・介護支援サポーター登録者数	人	目標	100	100	100	100
			実績	109	98	123	100
			達成率(%)	109.00	98.00	123.00	100.00
指標の説明							
指標	生活・介護支援サポーターポイント数	ポイント	目標	1,600	1,400	1,000	1,000
			実績	1,293	1,596	1,327	836
			達成率(%)	80.81	114.00	132.70	83.60
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価		配食による栄養改善事業は目的と利用者のニーズに相違が生じてきており、利用者数も減少している。					

5. 事業に対する評価

現状と課題	有効性に課題	
	高齢者が住み慣れた地域で自立して生活できるように、見守り体制を整えたりサービス内容を検討していく必要がある。	
これまでの見直しや改善等の実績	事業の目的と、利用者のニーズに相違が生じてきたため、民間サービスの活用や地域での見守り体制を整備することにより、民間と「高齢者配食見守り事業」の協定を締結した。また、利用者に周知することで、民間サービスにスムーズに移行できた。	

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度			目標年度		
方向性の説明	平成29年度は一般介護予防活動支援事業として継続し、民間サービスの活用や地域での見守り体制の整備については今後も検討し調整していく必要がある。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	06 地域支援事業
大	001	介護予防・日常生活支援総合事業				
中	26	通所型サービス事業				

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	6	誰もが笑顔で暮らせるまちづくり	所管部局	市民福祉部
	基本計画	6-3	高齢者福祉の充実		健康長寿課(高齢)
総合戦略	政策パッケージ	2	少子化・高齢化対策		
	施策	2-4	高齢者の元気・健康の維持		
事業区分	自治事務(義務的なもの)		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	介護保険法、地域支援事業実施要綱			
根拠例規	有	坂井市介護予防・日常生活支援総合事業実施要綱			
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	地域において、身近な場(区民館等)を通いの場として介護予防事業を行うことにより、被保険者が要介護状態または要支援状態になることを予防し、可能な限り地域において自立した日常生活を営むことができること、また、支援する高齢者自身の生きがいづくりや介護予防ができることを目的とする。
実施手法等	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆通いの場事業 地域の身近な場所に通いの場を設け、地域住民が主体となって介護予防に取り組む体制づくりを目指す。</li> <li>◆空家改修支援事業 空き家の有効活用を図りながら、高齢者が身近な地域での交流や、介護予防等ができるような集う場を運営する団体に対して、補助を行う。</li> </ul>

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	2,724	1,143	
	人件費	6,310	5,687	
	総事業費	9,034	6,830	0
人員	正職員	0.94 人	0.80 人	人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	人
	人員計	0.94 人	0.80 人	0.00 人
財源内訳	国県支出金			
	その他特定財源	2,724	1,143	
	一般財源	6,310	5,687	0

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	通いの場実施地区	ヶ所	目標	10	20		
			実績	8	4		
			達成率(%)	80.00	20.00	0.00	0.00
指標の説明		市内区民館等での実施地区数(H27新規4、H28新規4+継続4)					
活動	通いの場参加人数(延人数)	人	目標	2,040	1,440		
			実績	3,964	1,538		
			達成率(%)	194.31	106.81	0.00	0.00
指標の説明		各区実施ペース1回/週~1回/2週の延参加人数					
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価		市内行政区の区長以外の関係者にも事業周知を図ったことにより、少しずつ新規地区の増加につながった。					

5. 事業に対する評価

現状と課題	有効性に課題		
	事業に関心を示す地区からの問い合わせはあり、理解が少しずつではあるが得られてきている。しかし、実施につながらない現状がある。そのため、さらに事業周知を図る必要がある。		
これまでの見直しや改善等の実績	これまでの区長回覧による事業周知方法に加え、民生委員等の関係者への周知の実施や広報誌掲載、ケーブルテレビでのPRを行った。		

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度			目標年度		
方向性の説明	2025年を見据えた地域包括ケアシステムの構築に向け、平成29年度は一般介護予防活動支援事業として引き継ぎ、通いの場事業実施地区のさらなる確保と住民主体性を活かし内容充実を図ることで、高齢者自身が住み慣れた地域で暮らし続けていけることを目指す。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	06 地域支援事業
大事業	101	包括的支援・任意事業				
中事業	01	地域包括支援センター事業				

1. 事業の位置付け

総合計画	基本構想	6	誰もが笑顔で暮らせるまちづくり	所管部局	市民福祉部
	基本計画	6-3	高齢者福祉の充実		健康長寿課(高齢)
総合戦略	政策パッケージ	2	少子化・高齢化対策		
	施策	2-4	高齢者の元気・健康の維持		
事業区分	法定受託事務		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	介護保険法			
根拠例規	有	坂井市地域包括支援センター運営事業実施要綱			
関連計画・マニュアル	無				

2. 事業の目的・概要

目的・趣旨	包括的支援事業（地域包括支援センター運営事業、介護予防ケアマネジメント業務、総合相談支援業務、権利擁護業務、包括的・継続的ケアマネジメント支援業務）を行うことで、被保険者が要介護状態又は要支援状態になることを予防するとともに、要介護状態になった場合においても、可能な限り、地域において自立した日常生活を営むことができるよう支援する。
実施手段	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆地域包括支援センター運営事業 地域包括支援センターの運営を行う。</li> <li>◆介護予防ケアマネジメント事業 要支援認定者に介護予防ケアプラン作成を行う。</li> <li>◆権利擁護事業 高齢者虐待防止や早期発見、成年後見人制度の手続き支援を行う。</li> <li>◆包括的・継続的ケアマネジメント事業 介護支援専門員等の後方支援を行う。</li> </ul>

3. 事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	86,989	43,649	37,073
	人件費	18,739	35,301	27,649
	総事業費	105,728	78,950	64,722
人員	正職員	1.99 人	3.99 人	3.00 人
	臨時職員	2.10 人	3.38 人	2.60 人
	人員計	4.09 人	7.37 人	5.60 人
財源内訳	国県支出金			
	その他特定財源	94,634	55,866	47,464
	一般財源	11,094	23,084	17,258

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	総合相談件数（延べ）	件	目標	5,500	5,500	7,000	
			実績	5,401	5,290	5,968	
		達成率(%)	98.20	96.18	85.26	0.00	
活動	指標の説明		総合相談件数				
指標	権利擁護相談件数（延べ）	人	目標	200	200	200	
			実績	132	219	182	250
		達成率(%)	66.00	109.50	91.00	0.00	
活動	指標の説明		総合相談の内権利擁護相談数				
指標	地域包括支援センター設置数	箇所	目標	5	1	1	1
			実績	5	1	1	1
		達成率(%)	100.00	100.00	100.00	100.00	
成果	指標の説明		坂井市内の地域包括支援センター設置数				
指標			目標				
			実績				
		達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00	
指標	指標の説明						
指標に基づく評価	民間地域包括支援センターを委託したことにより、地域の身近なところでより専門的な相談ができるように窓口や支援の体制強化が図れた。						

5. 事業に対する評価

現状と課題	有効性に課題	
	日常生活圏域ごとに民間の地域包括支援センターを設置し、住民のより身近な所で相談・支援などの対応をしている。今後も窓口周知を図り、相談支援の体制づくりの充実をしていく。	
これまでの見直しや改善等の実績	平成28年4月に民間地域包括支援センターを設置し、ワンストップ窓口の充実を図り、直営の基幹型地域包括支援センターと民間による地域包括支援センターが協議・連携しながら相談支援体制を整えた。	

6. 今後の方向性

目標年度	短期的な方向性	継続	中長期的な方向性		拡充
			目標年度	平成37年度	
方向性の説明	地域包括支援センターの委託を継続し、ワンストップ窓口により近づけるよう普及・啓発を続けていく。地域包括支援センターの充実を図ることで、地域包括ケアシステムの構築に繋げていく。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	06 地域支援事業
大事業	101	包括的支援・任意事業				
中事業	02	認知症対策事業				

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	6	誰もが笑顔で暮らせるまちづくり	所管部局	市民福祉部
	基本計画	6-3	高齢者福祉の充実		健康長寿課（高齢）
総合戦略	政策パッケージ	2	少子化・高齢化対策		
	施策	2-4	高齢者の元気・健康の維持		
事業区分	自治事務（義務的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）			
根拠例規	無				
関連計画・マニフェスト	有	高齢者福祉計画			

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	認知症になっても、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、早期の段階からの適切な診断と対応、認知症に対する正しい知識と理解に基づく本人や家族への支援について、ネットワークの構築や相談体制の強化を図る。
実方手法等	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆認知症検診事業 認知症検診を受診し、必要があれば専門医療につなげていく。</li> <li>◆徘徊高齢者SOSネットワーク事業 徘徊した場合の地域の見守り体制を構築し、対応できるシステムづくりを図る。</li> <li>◆認知症サポーター養成事業 認知症について正しく理解し、地域において認知症の人や家族を見守り、支援する「認知症サポーター」を養成する。</li> <li>◆認知症施策推進事業 認知症初期集中支援チームを設置し、早期対応に努める。</li> </ul>

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	755	643	
	人件費	8,928	7,954	
	総事業費	9,683	8,597	0
人員	正職員	1.33 人	1.09 人	人
	臨時職員	0.00 人	0.10 人	人
	人員計	1.33 人	1.19 人	0.00 人
財源内訳	国県支出金			
	その他特定財源	755	644	
	一般財源	8,928	7,953	0

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
指標	認知症検診受診率	%	目標	20.0	20.0	20.0	
			実績	23.2	23.3	26.4	
		達成率(%)	116.00	116.50	132.00	0.00	
活動	指標の説明						
チェックリスト該当者が指定医療機関で受けるMMSE検査受診率							
指標	徘徊高齢者SOSネットワーク協力事業所	件	目標	120	100		
			実績	116	109		
		達成率(%)	96.67	109.00	0.00	0.00	
活動	指標の説明						
気がかりな高齢者等の見守りを行う事業所数							
指標	認知症サポーター養成数	人	目標	1,000	900	800	400
			実績	266	876	856	660
		達成率(%)	26.60	97.33	107.00	165.00	
成果	指標の説明						
認知症サポーター養成講座の受講者数							
指標			目標				
			実績				
		達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00	
指標	指標の説明						
認知症の早期診断、早期対応のための認知症検診は横ばいであるが、認知症高齢者が地域で自立した生活を送れるための見守り体制としての徘徊高齢者SOSネットワーク事業数は増加してきている。							
指標に基づく評価							

5. 事業に対する評価

現状と課題	有効性に課題	
	認知症の予防及び対応について、偏見や早期対応の難しさに課題があり、正しい理解の普及啓発や相談の充実を図ることが必要と考える。	
これまでの見直しや改善等の実績	認知症検診の2次検診対象者の未受診者に受診勧奨通知をしている。子どもたちから認知症に対する理解を深めるために、学校でのサポーター養成講座の開催依頼をし、普及啓発の拡大を目指している。	

6. 今後の方向性

短期的な方向性		改善（見直し）	中長期的な方向性		拡充
目標年度	平成29年度		目標年度	平成30年度	
方向性の説明	認知症サポーター養成講座について、学校や徘徊高齢者SOSネットワーク協力事業所との連携を行い、養成数の増加に努める。認知症初期集中支援チームの設置をし今年度より活動をしていく。地区での徘徊模擬訓練を通し、地域での見守り体制、認知症の理解促進を図っていく。各種の事業を通して、認知症対策事業の推進を行う。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	06 地域支援事業
大事業	101	包括的支援・任意事業				
中事業	03	包括的支援事業				

1. 事業の位置付け

総合計画	基本構想	6	誰もが笑顔で暮らせるまちづくり	所管 部局	市民福祉部
	基本計画	6-3	高齢者福祉の充実		健康長寿課（高齢）
総合戦略	政策パッケージ	2	少子化・高齢化対策		
	施策	2-4	高齢者の元気・健康の維持		
事業区分	法定受託事務		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	介護保険法、地域支援事業実施要綱			
根拠例規	無	坂井市介護予防日常生活支援総合事業実施要綱			
関連計画・マニュアル	無				

2. 事業の目的・概要

目的・趣旨	包括的支援事業（社会保障充実分）である在宅医療・介護連携推進事業、生活支援体制整備事業、地域ケア会議推進事業の実施により、地域の高齢者が地域でできる限り暮らすことができるようにする「地域包括ケアシステムの構築」を目指す。
実 方 施 法 手 等 段 ・	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆在宅医療・介護連携推進事業 地域の医療介護関係者による会議や在宅ケアの広報普及等を行う。</li> <li>◆生活支援体制整備事業 生活支援コーディネーターの配置や協議体を設置し、生活支援の充実を図る。</li> <li>◆地域ケア会議推進事業 地域包括支援センター等において、多職種協働による個別・地域課題の把握や解決策を協議する。</li> </ul>

3. 事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	292		
	人件費	9,197		
	総事業費	9,489	0	0
人員	正職員	1.37 人	人	人
	臨時職員	0.30 人	人	人
	人員計	1.67 人	0.00 人	0.00 人
財 源 内 訳	国県支出金			
	その他特定財源	292		
	一般財源	9,197	0	0

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
指標	多職種連携カンファレンス実施回数	回	目標	2	1	1	1
			実績	2	1	1	1
			達成率(%)	100.00	100.00	100.00	100.00
指標の説明		各日常生活圏域で開催した顔の見えるカンファレンス数					
活動	地域ケア会議実施数	回	目標	28	8	8	8
			実績	24	11	12	5
			達成率(%)	85.71	137.50	150.00	62.50
指標の説明		地域包括支援センターで開催した地域ケア会議数					
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価		市直営で実施していた時よりも民間地域包括支援センターが日常生活圏域ごとに多職種連携間でケース課題や地域課題を探ることを目的に実施することにより、実施数は増加した。					

5. 事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題	
	高齢者人口の増加と共に包括的支援事業の業務の増加は否めない。平成28年4月より4ヶ所に民間地域包括支援センターが設置され、より身近な所で相談支援の対応が可能となったが、今後も基幹型、民間地域包括支援センター、介護や医療関係機関がスムーズに連携できるための密な情報共有をするなど体制を整えていく必要がある。	
これまでの見直しや改善等の実績	民間地域包括支援センターが平成28年4月に設置し、基幹型地域包括支援センターと民間地域包括支援センターが、相談・連携しながら多職種連携カンファレンスや地域ケア会議等を行った。	

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度			目標年度		
方向性の説明	地域住民が住み慣れた地域でその人らしい生活ができるよう、きめ細やかに包括的、継続的に支援していく包括ケアの実現に向けて、民間地域包括支援センターと共に普段の業務から浮かびあがる地域課題を洗いだし、課題解決に向けた協議などの取り組みを行う。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	06	地域支援事業
大事業	101	包括的支援・任意事業							
中事業	06	家族介護・継続支援事業							

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	6	誰もが笑顔で暮らせるまちづくり	所管部局	市民福祉部
	基本計画	6-3	高齢者福祉の充実		健康長寿課(高齢)
総合戦略	政策パッケージ	2	少子化・高齢化対策		
	施策	2-4	高齢者の元気・健康の維持		
事業区分	自治事務(任意的なもの)		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	有		坂井市地域支援事業(任意事業)実施要綱		
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	在宅で生活する高齢者に対し紙おむつを支給することにより、清潔の保持、在宅介護における家族の身体的かつ経済的負担の軽減及び高齢福祉の増進を図る。
実方手法等段	◆すこやか介護用品支給事業 介護度に応じて、決まっている上限枚数内の紙おむつを支給する。(最大6枚/1日)

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	41,137	43,602	40,022
	人件費	2,819	4,194	4,428
	総事業費	43,956	47,796	44,450
人員	正職員	0.42 人	0.59 人	0.63 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.42 人	0.59 人	0.63 人
財源内訳	国県支出金			
	その他特定財源	41,137	43,601	39,985
	一般財源	2,819	4,195	4,465

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
指標	介護用品(紙おむつ)支給対象者数	人	目標	1,800	1,600	1,400	1,300
			実績	1,690	1,700	1,595	1,394
			達成率(%)	93.89	106.25	113.93	107.23
指標の説明		H28年度に一齐に更新申請書を提出してもらい対象者を整理した					
指標	介護用品(紙おむつ)支給枚数	枚	目標	1,500,000	1,400,000	1,330,000	1,330,000
			実績	1,510,740	1,454,880	1,382,130	1,362,180
			達成率(%)	100.72	103.92	103.92	102.42
指標の説明		年間延べ枚数					
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価	すこやか介護用品支給事業は、支給枚数は増加傾向にある。						

5. 事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題	
	高齢者の増加に伴い、要支援者や要介護者も増加しており、在宅支援のニーズは今後も高まると想定される。また、すこやか介護用品(紙おむつ)の支給については、利用者数も増加し続けているため、利用者負担とおむつの種類の見直しの検討を必要がある。	
これまでの見直しや改善等の実績	すこやか介護用品支給事業も対象者と関わる事の多いケアマネジャーに対し、事業の周知をし適正に支給できるように行った。	

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度			目標年度		
方向性の説明	平成29年度は、すこやか介護用品(紙おむつ)支給内容の見直しとして、支給するおむつの種類等の検討をする。今後は近隣の市とも協議しながら利用者負担金について検討していく。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	06 地域支援事業
大事業	101	包括的支援・任意事業				
中事業	11	地域自立支援等事業				

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	6	誰もが笑顔で暮らせるまちづくり	所管部局	市民福祉部
	基本計画	6-3	高齢者福祉の充実		健康長寿課（高齢）
総合戦略	政策パッケージ	2	少子化・高齢化対策		
	施策	2-4	高齢者の元気・健康の維持		
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	有		坂井市高齢者等介護予防・生活支援事業実施要綱		
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	高齢者の地域における自立した生活を継続させるため、地域資源を活用しつつ、安心な住まいの確保や家庭内の事故等への対応、見守りが必要な高齢者への支援等を行う。
実施手法等	高齢者の地域における自立した生活を継続させるために下記の事業を実施する。 ◆緊急通報装置設置事業 ◆食の自立支援事業 ◆住宅改修支援事業 ◆生活管理指導短期宿泊事業 ◆高齢者虐待防止宿泊措置事業

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	7,949	31,644	29,168
	人件費	3,063	3,839	8,152
	総事業費	11,012	35,483	37,320
人員	正職員	0.38 人	0.54 人	1.16 人
	臨時職員	0.20 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.58 人	0.54 人	1.16 人
財源内訳	国県支出金		33,993	33,040
	その他特定財源	7,949		
	一般財源	3,063	1,490	4,280

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年	
指標	緊急通報装置設置数	個	目標	200	200	200	200	
			実績	190	207	207	165	
		達成率(%)	95.00	103.50	103.50	82.50		
成果	指標の説明							
		1人暮らし高齢者に対し、緊急通報装置を貸与する						
指標	食の自立支援事業利用者数	人	目標					
			実績	39	51	57	72	
		達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00		
活動	指標の説明							
		定期的に食事を宅配し、利用者の安否確認を行う						
指標	住宅改修理由書作成件数	件	目標	30	30	20	15	
			実績	30	22	22	27	
		達成率(%)	100.00	73.33	110.00	180.00		
活動	指標の説明							
指標								
			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00	
	指標の説明							
指標に基づく評価	利用数等の状況の変化は少ないが、高齢者が自立した生活を継続できるような適切な支援・活動は実施できている。							

5. 事業に対する評価

現状と課題	妥当性に課題	効率性に課題	有効性に課題
	高齢者が住み慣れた地域で自立して生活できるように、見守り体制の整備やサービス内容（緊急通報装置設置の利用者負担等）の検討は今後も必要である。		
これまでの見直しや改善等の実績	食の自立支援事業については、利用者のニーズと事業の目的に相違が生じたため、民間の配食業者と協定を締結し地域での見守り体制を整えたため、平成29年度は廃止とした。		

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度			目標年度		
方向性の説明	高齢者の増加に伴い、ひとり暮らし世帯や高齢者のみの世帯も増加しており、住み慣れた地域での見守りや一人暮らし高齢者対策が今後も重要な課題となる。				